



校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 27 年 5 月 7 日

第 1 号

発行にあたって

4月に市ケ尾高校に着任し、早いもので1か月余りが経ちました。市ケ尾高校については、以前から、県内の県立高校の中でも最大規模の学校の一つで1学年10クラス、全学年で30クラス、約1,200名の生徒が、「文武両道」の校風のもと、勉学にも部活動や学校行事などにも一所懸命に取り組む活気あふれる学校だと聞いていましたが、着任以来、日々その言葉を実感しています。いろいろな場面で生徒が生き生きと活動しながら思う存分学校生活を楽んでいる様子を目にします。



校舎手前がポニーの丘

市ケ尾高校の校長室は、校長室としては珍しく、校長室の階上が普通教室なので生徒と私の動線がかなり重なっています。ですから、校長室を出ると生徒に出会うことが多く、よくあいさつを交わしています。また、校長室の窓もこれまでとは違い、生徒の様子が目に入る場所に広がっています。朝はいくつもの部活があちこちで朝練に励み、天気の良い昼休みには、生徒たちが昇降口前のベンチや小高くなっている前庭（愛称「ポニーの丘」）で男女の別なく和気藹々と昼食を摂ったり、バレーボールなどを楽しんだりしています。そして、放課後には、昇降口前やグラウンドで部活動に懸命に練習に取り組んでいる姿が目に入ります。実に明るく、活気に満ちた光景です。

そんな生徒の皆さんに、日ごろ、私の心に響いたことばや心に残ったこと、関係する大切な情報などを伝えたいと思っても、直接語れる機会はとても限られています。始業式や全校集会等、年に数回です。着任以来、学校にいる朝は、8時からの打ち合わせをできるだけ15分ほどで終え、全体の打ち合わせが始まる8時30分までの間、そして、全体の打ち合わせが早めに終わればその後も昇降口前で登校する生徒の皆さんに朝のあいさつをしています。何かを伝えるには至りません。また、保護者の皆様への発信ということでは、その機会はさらに限られています。

そこで、このたび「校長室の窓から」と題して「校長だより」を発行することとしました。この紙面をとおして生徒、保護者の皆様に本校の様子や校長としての考え、雑感、情報等を伝えていきたいと思えます。お読みいただき、感想などをお寄せいただければ幸いです。

市ケ尾高校をはじめて訪れた時のこと

◆◆清々しくて頼もしい市高生

3月30日（月）、引継ぎのためにはじめて市ケ尾高校を訪れました。市が尾駅から地図を頼りに歩き始めると、だんだんに緑が豊かになったあたりから本校が見え始めます。

同じ道を部活の大きなバッグを肩にかけたり、背負ったりして足早に歩いていく市高生が何人かいました。きちんとした制服姿で颯爽と歩いていく様子に頼もしさを感じました。グラウンドにさしかかると、テニス部や野球部が声をあげながら熱心に練習に励んでいます。そのきびきびした動きに、ふと「文武両道」の言葉が思い出され、文武両道で培われる集中力を感じました。

正門を入ると、ちょうど通りかかった生徒が笑顔であいさつをしてくれます。どの生徒からも感じられる清々しさ、気持ちのよさに嬉しさとはほほえましさを感じるとともに、これからこの生徒たちをお預かりするのだという責任の大きさに改め

て身が引き締まる思いがしたのを思い出します。

◆◆美しい花壇の花に込められた思い

職員玄関に近づくと、左手にある、よく手入れが行き届いた美しい花壇に目を奪われました。この花壇に咲く季節の花が、どれほど生徒の目を和ませ、心を豊かにしてくれていることか。心を込めて花壇の整備をし、四季折々の美しい花を咲かせてくださっている保護者の皆様の温かな思いが伝わってくる花壇です。



写真は4月中旬。青空の日を待っていたらあっという間にチューリップが満開になってしまいました。

✚ より高きを目指せ！

◆◆より高きを目指して可能性と能力を拓く

聞いたことがある人もいると思いますが、こんな言葉があります。

意識が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる

意識することで行動は明らかに変わります。漫然と過ごしていた時とは比べ物にならない充実した時間を過ごすことができます。

市高生の皆さんには、無限の可能性があります。その可能性をどんどん拓き、持っている力を遺憾なく発揮するために「より高きを目指す」ということを是非意識してください。但し、それは人と比較したり、追い抜かしたりということではありません。今の自分よりもさらに磨かれた自分を、自らの意思と力で作っていき、作り続けていくということです。そのために、「果敢に挑戦する」「目標を設定する」「『より高きを目指す』を共有する」の3つを心に留めてほしいと思います。

○果敢に挑戦する

挑戦することで能力は引き出されます。なりたい自分や本当にやりたいこと、心から望むことがあれば、ためらうことなく挑戦してください。その時大切なことは、決して自分で自分の限界をつ

らないということ、そして、妥協しない、諦めない、努力を惜しまないということです。大学受験でも、決して妥協せず、あくまでも行きたい大学、学びたい大学にこだわり、とことん努力してください。果敢に挑戦するということは、目標を設定することでもあり、計画性が必要です。

○目標を設定する

目標を設定する際には、大きな目標だけでなく、日々積み上げていくような小さな目標を設定することが大切です。後者は、頑張ればクリアできる（頑張らないとクリアできない）ところに設定し、クリアできたら次の目標を立てます。そのつど達成感を味わうことで、モチベーションもアップして好循環を生み出します。始業式では目標設定の達人としてイチロー選手の言葉を紹介しましたが、覚えていますか。（紙面の関係でここでは割愛）

○「より高きを目指す」を共有する

一人ひとりがより高きを目指すとともに、皆でそれを共有することで、さらに相乗効果が生まれます。本校にはすでに活気あふれる校風がありますが、その校風を基盤に「より高きを目指す」ことを確と意識し、皆で切磋琢磨し、モチベーションを共有することで、より一層高め合ってほしいと思います。市高生の皆さん、是非、伸びやかに、より高きを目指してください。皆さんの活躍に心から期待しています。（始業式での校長の話より）

✚ 3つの「気」

◆◆「やる気」「根気」「本気」

1年生の皆さん、高校の生活には慣れましたか。すでに部活や委員会、生徒会などでの活動を始めている人も多いと思います。

入学式でもお話しましたが、人は経験することで成長します。是非、部活動や委員会、生徒会活動など校内の様々な活動に積極的に参加するとともに、インターンシップやボランティアなど、学校外での学びの機会を生かし、様々な経験、多くの人との出会いをとおして、自己理解を深め、調和のとれた成長につなげてください。

入学式では、大切にしてほしい3つの「気」についてもお話しました。2、3年生の皆さんにも伝えたいと思います。

3つの「気」とは、「やる気」「根気」「本気」の3つです。

「やる気」とは、いろいろなことに挑戦しようという気持ちにもつながります。やる気があれば何にでも積極的に臨むので、持っている力がどんどん引き出されます。やる気のある人は、覇気があり、生き生きしています。

「根気」とは、粘り強く続ける力、すぐに諦めない力です。うまくいかないことがあっても決してくじけたり投げ出したりせず、違う方法を考え

てみてください。失敗したままで終わらせればただの「失敗」ですが、成功するまで諦めなければ同じことでも成功へのステップです。

「本気」とは、心の底からそうしたいと思う力です。そして、妥協を許さず、一心に何かに向かっていく強い思いです。本気で向き合えば、いつかそれが楽しみや喜びになり、たとえ疲れても充実感や達成感があるので、また次に進むことができます。そして、この3つの「気」をつなぐのが「努力」、目指すものはより高き目標であり、より高き自分です。やる気になって事にあたり、根気よく本気で努力を続ければ、必ず目標は実現します。そして、小さな目標を一つひとつ積み上げていくと、いつか夢のような大きな目標を達成することができます。皆さんに、詩人、坂村真民さんの「つみかさね」という詩を贈ります。

一球一球のつみかさね／一打一打のつみかさね
一歩一歩のつみかさね／一坐一坐のつみかさね
一念一念のつみかさね／つみかさねの上に 咲く花／つみかさねの果てに 熟する実
それは美しく尊く／真の光をはなつ

仲間とともに、認め合い、高め合い、夢や目標を語り合いながら、一度しかない高校時代を悔いのない充実した時間にしてください。

◆◆ 新入生歓迎会

◆◆ 熱烈大歓迎！最初の「市高最高！」

4月10日（金）に行われた新入生歓迎会は実に見ごたえがあり、感動的でした。着任早々、本校の新入生歓迎会がとても感動的だということを何人かの方から聞いていましたが、想像をはるかに超えています。

すでに会場に集まっている2、3年生が腰を下ろした体育館のライトが落とされ、新入生の入場を待つ静寂の中、新入生の入場（クラスごとに入場）とともに体育館入口にライトが当てられ、割れんばかりの大きな拍手で新入生が迎えられます。これが10クラス続き、入場直後は、新入生らしい若干の緊張感や気恥ずかしさも感じられますが、先輩たちの盛大な歓迎の拍手の中を自分の席に着くころには皆、晴れやかな笑顔になっています。

そして、生徒会や委員会、各部、同好会などの紹介が始まります。とても高校生が制作したとは思えないような出来栄のビデオ、趣向を凝らした紹介や発表に、上級生たちの熱い思いが伝わっ

てきます。司会の3人の奮闘ぶりも歓迎会を大いに盛り上げます。最後を飾るのは、全国大会にも出場したバトン部、ダンス部。さすがに見事な演技です。さらに全員での「市高最高！」の唱和は、新入生の心をしっかりととらえたことと思います。こういう先輩たちの熱い思いが受け継がれ、市高生はどんどん市高が好きになり、だからこそ、卒業してからも市高を愛し続けてくれるのだなあとつくづく思いました。

この恒例の新歓は、新歓コアのスタッフを中心に何か月も前から練りに練って準備を重ね、前日も遅くまでリハーサルをしていました。リハーサルでは予定の時間を大幅に超えていたそうですが、当日は時間どおりの進行で、内容と合わせて見事なイベントでした。上級生たちの新入生への歓迎の気持ちが十分に伝わったことと思います。

関係の皆さん、お疲れ様。そして、本当にありがとうございます。

※ 会場が暗かったので、写真を掲載できないのが残念です。

🏆 試合の応援に行ってきました

関東大会県予選 女子バスケット部が大健闘！



関東大会県予選でベスト8に残った女子バスケット部の応援に行ってきました。

5月4日（月）の準々決勝では、秦野高校と対戦。前半は29対24とリードしていましたが、後半追い上げられ56対70で惜敗。しかし、翌5月5日（火）の代表決定1回戦の荏田高校との試合では、前半15対22とリードを許したものの、後半の集中力素晴らしく、41対35で見事勝利を収めました。

そして、いよいよ関東大会代表をかけた5月6日（水）の5位決定戦では、名門の金沢総合高校と対戦。最終ピリオドまでリードしていましたが、終盤追いつかれ、接戦を繰り返して、2点リードされたところで試合終了間際に同点のシュートが見事に決まり延長戦に。延長戦も手に汗握る大接戦。応援席も大きな声援を送り、選手も大いに健闘しましたが、惜しくも1ゴール差の61対64で敗れました。しかし、県下の名門・強豪の金沢総合高校と互角に戦い、実力も伯仲。この大会をとおして本校女子バスケット部は大きく成長したことと思います。

今回の試合は大きな目標の通過点です。今回の経験と悔しさを次につなげて、さらに大きく飛躍してください。皆が応援しています。

これからも時間の許す限り、市高生の様々な活動を見に行きたいと思っています。



写真提供は、マネージャーの押山亜葵子さん（3年）。ゴールの瞬間をとらえたショットなど躍動感あふれる写真をたくさん撮ってくれました。

将来教員になりたいあなたへ 「高校生のための教職セミナー」

今年度、神奈川県では、キャリア教育の一環として、「高校生のための教職セミナー」（無料。事前申込。先着順。1日から可）を実施します。日程等は次のとおりです。（詳しくは、担任まで）

- 8/23（日）AM：教員になるためには
- 9/6（日）PM：コミュニケーション能力の育成
- 9/13（日）PM：インクルーシブ教育
- 10/18（日）PM：授業づくりを学ぶ①
- 11/15（日）PM：仲間づくり・集団づくり
- 11/29（日）AM：授業づくりを学ぶ②
- 12/13（日）PM：子どもを大切にすること
- 1/24（日）PM：教員という仕事の魅力と責任